

事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3015回 例会2024.1.18 No.1675



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD

ソング 君が代 奉仕の理想

会長談話 山田 益会長

「技術の創造研究会」と「失敗学」
 私は 25 年前 1998 年 4 月、畑村洋太郎東大教授の主催している「技術の創造研究会」に入会して今日まで年間 6 回の研究会などに参加してきました。研究会の目的については、畑村教授の説明を紹介します。



1998 年の事です。次のような内容となります。創造的な技術を求める社会がもうすでにやってきました。現在の日本経済は、誰もが不景気だ、デフレだと言うように先の見えない昏迷の状況に有ります。しかし実際にはそれとは違うもう一つの大きな潮流が有るように思えます。それは「技術が飽和」しているという事です。言い換えれば従来形でやってきた技術では、本来社会が求めている要求を満たしきれないという事です。つまりその現実に対して、いまだに従来形の方法で突破しようともがいているように見えます。要求している事柄自体が違うものになっているのに、従来形で対応しようとするると軋轢が生じ、現在の不景気と言う形になって現れていると思います。

今、自分の要求を満たすだけの十分なモノを持っているのに、周囲からは更にもっとモノを買えと言われる。こんな時、更にモノを買いたい求めているのでしょうか。答えは誰も買いたくないよ、だと思えます。つまり「技術の飽和」が起きているという事なのです。これが「産業の成熟化」とか、「若者の理科離れ」とか、「若者が製造業に行かなくなった」とか、という形で現れています。

ではいかにこの状況を打破しましょうか。本当にこれらの問題を突破して次の段階に進もうとすると、「創造的な技術を作る」、つまり「技術の創造」がどうしても必要になります。そこでこの技術の創造研究会を始めることに決めました。技術の創造研究会の目的は、ただ単に楽しくわいわい議論するとか、会って楽しいとかいう事ではありません。まず第一に、会員各位が技術の創造能力を得る事、つまり技術を創造するという能力の

向上を図ることを考えています。その次に、会員や会員の周囲の方々に技術が創造できるような能力獲得手段や技術伝達手段、つまりどうやったら方法論的に本当に技術が創造出来るのか、研究することを考えています。そして最後にはその獲得するための機会を提供する事を考えています。つまり技術の創造研究会の活動を通じて、現在の日本の状況を打破する手段を明らかにして、きちんと社会に貢献したいという事です。

現在の状況は、2024 年 1 月 12 日、第 152 回「技術の創造研究会」が東京で開催されました。今回の研究会は「新春講演会」となりました。

- ① 名古屋大学：減災連携研究センター武村雅之特任教授「関東大震災の震源・被害・復興—研究 30 年の成果から見える現在の問題—」
- ② 東京大学大学院情報学環 片田敏孝特任教授「大規模災害を次世代に活かすとは～自ら備える姿勢をどのように導くか～」

内容については、二つの講演は 2 時間ずつ話されましたが、大変内容の濃い有意義なものでした。特に片田教授については、2011 年 3 月 11 日の「東日本大震災」時、岩手県釜石市の 3000 人近い小中学生がほぼ全員が避難して奇跡的に無事だったことは、多くの人に希望を与えました。「釜石の奇跡」として知られています。この事は当時群馬大学教授だった片田教授が、数年間取り組んできた防災教育プログラムの成果と言われています。

今回の「技術の創造研究会」の終わりに、畑村会長から 2023 年 12 月に上梓されました畑村洋太郎著：朝日新書「老いの失敗学」—80 歳からの人生をそれなりに楽しむ— が紹介され、会員全員に頂きました。内容については大変考えさせられることが多いので、次の機会にお話したいと思っています。

誕生祝

立石 誠・小河節郎

結婚記念日祝

三澤清美・中川博司・都築 透・竹腰哲夫
小松献臣・原 年弘

在籍祝

熊谷勝昌(32) 藤澤秀敬(29) 宮下金俊(29)
竹腰哲夫(29) 平出吉範(29) 本田敏和(7)
唐澤洋祐(4)



幹事報告 別紙をご覧ください

委員会報告 「雑誌紹介」 職業奉仕月間

1月号「ロータリーの友」赤羽弘之副会長
横組み P5~RI 会長メッセージの要旨です。

ロータリーは武力に訴えて解決する方法に一貫して反対しています。世界各地 140 万人の世界を平和に導くという大義に基づいて行動しています。今までも平和センターを世界各地につくり、平和フェローを育て、平和を構築するプログラムを作ってきました。世界中に起こっている暴力行為がエスカレートしていることは否定できません。それでも共通の目標に向かってロータリー会員が力を合わせることによって、この暗黒の日々から抜け出すための道を照らしましょう。

P7~特集、社会奉仕となっています。

P8 に社会奉仕の説明があります。

P10~実践事例がいくつかのっています。

P14 は「シンガポールで希望を分かち合おう」として国際大会のアピールの記事があります。シンガポールは時間的にも比較的行きやすい国なので、機会をとらえて是非参加してください。

P18~END POLIO NOW として各 RC の行動が掲載されています。2600 地区は松本地区の信毎メディアガーデンのレポートが掲載されています。

P30~米山奨学生だった、マリエッタ ニョン プランラ ゴンルドブさん(バラコウ大学農学部講師)のベナン共和国の紹介記事があります。

縦組み P4~

山本善政氏の 2530 地区の職業奉仕セミナー要旨です。みずからの会社の経営理念に四つのテストを取り入れ、何とか業態転換して成功した話があります。担当の銀行員とのやり取りや、午前・午後の資金繰り表を作った話、とても身につまされます。経営者は必読です。是非お読みください。

P9~この人を訪ねては、東京城西 RC の坂本慶尚(まさひさ)さん。

サーフィンに明け暮れ、26 歳で会社を設立して広告会社として成功した様子が書かれています。

出席報告 会員数 57 名 内出席免除者 19 名
出席者 24 名 事前メーキャップ 0 名 出席率 54.54%

ニコニコボックス

・宮下 裕 12/29 で仕事を辞めました。
・三澤 聡 今日のニコニコボックスが寂しかったので、委員長責任としてたまには協力させていただきます。

ラッキー賞

笠井俊朗・藤本和寿
本郷一博・神山公秀
三澤 聡・赤羽弘之
登内豊明



クラブフォーラム 職業社会奉仕月間

笠井俊朗職業・社会奉仕委員

「伊那弥生ヶ丘高校キャリア教育授業」概要説明

1 日時・会場
令和 6 年 2 月 8 日 (木)
14:45~16:10
於:いなっせ(伊那市生涯学習センター)
6 階多目的ホール・ホワイエ



(14:30 ホワイエ集合)

2 目的

- ① 2 年次の個人探究に向けて、生徒の「質問する力」や「聞く力」を鍛える。
- ② 「会社経営」や、会社の立地する地域の一員としての「まちづくり」という、答えがすぐには出ない大きな「問い」に対して、現在進行形で前向きに明るく精神的に探究し続けている大人の姿に触れ、彼らが歩んできた過程を知ることを通じ、生徒自身がこれからの在り方、生き方に対する考えを深めるきっかけとする。
- ③ 生徒自身が深めるべき探究課題を見つけるヒントを得る。今後の生徒の探究を支えてくれる人脈づくりや、サポーターを得るきっかけとする。

・生徒は、事前に「講師プロフィール一覧表」をもとにインタビューする講師と、インタビュー内容を検討しておく。当日は生徒が各自で「講師ブース」に伺い、時間内に講師へのインタビューを行う。

・生徒は、3 回分をそれぞれ別の講師へのインタビューに充てても良いし、続けて同じ講師へのインタビュー時間に充てても可とする。

・1 学年の生徒数は約 200 名です。1 回のインタビューごとに、1 講師あたり 6~7 名の生徒が集まるイメージです。商工会、RC 合わせて 30 名程度の講師を揃えます。

RC からは、現在 13 名決定していますが、まだ募集中ですので、是非ご参加下さいます様、お待ちしております。